

事 務 連 絡  
平成 26 年 7 月 25 日

各 正 会 員  
事 務 局 長 様

公益社団法人全国産業廃棄物連合会  
専務理事 森 谷 賢

産業廃棄物処理業の景況動向調査（2014 年 1-3 月期）報告書  
の送付について

当連合会の事業の運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、本調査の実施にあたり全産廃連発第 10 号（平成 26 年 4 月 14 日付け）にて、ご協力をお願いしたところですが、ご多用の中、ご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。

つきましては、本調査の報告書が別添の通りまとまりましたので、ご送付いたします。

平成 26 年 7 月

## 産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2014 年 1-3 月期〕

公益社団法人全国産業廃棄物連合会

### 〔調査結果の概要〕

消費増税後の落ち込みなどの先行きの不透明感がある中で、大雪など悪天候の影響も重なり、業況は足踏み状態となっている。

- 2014 年 1-3 月期の景況判断を「悪化」とした企業は 19%で前回調査(2013 年 10-12 月期 18%)より 1 ポイント悪化、「好転」とした企業は 13%で前回調査(16%)より 3 ポイント悪化した。景況判断 DI は▲6 となり、前回調査(▲2)より 4 ポイント減と 2013 年 4-6 月期以来 9 ヶ月ぶりに悪化している。

以下、その他業況感 DI の内訳

- ・売上高 DI は▲5 で、2013 年 10-12 月期から 26 ポイント悪化
  - ・処理量 DI は▲8 で、2013 年 10-12 月期から 27 ポイント悪化
  - ・契約単価 DI は▲2 で、2013 年 10-12 月期と同水準
  - ・営業利益 DI は▲10 で、2013 年 10-12 月期から 11 ポイント悪化
  - ・資金繰り DI は 1 で、2013 年 10-12 月期から 3 ポイント改善
  - ・借入難易度 DI は 7 で、2013 年 10-12 月期から 1 ポイント悪化
  - ・設備投資 DI は▲1 で、2013 年 10-12 月期から 3 ポイント悪化
  - ・従業員数 DI は 4 で、2013 年 10-12 月期から 1 ポイント改善
- 今後の景況感 DI の見通しは、景況判断 DI で▲18 となり、12 ポイント悪化する見込みとなっている。
  - 売上高の動向については、前年同期比(3 ヶ月平均)で 17.6%増となった。
  - 処理量の動向については、前年同期比(3 ヶ月平均)で 17.9%増となった。
  - 経常利益率については、平均値が 5.38%(前回調査 5.50%)となった。回答割合は「5%未満」35.7%、「5-10%未満」20.7%、「10%以上」14.7%となった。
  - 経営上の問題点については、1 位「同業者相互の価格競争の激化」、2 位「需要の停滞」、3 位「人件費以外の費用増加」、4 位「顧客先からの値下げ要請」となった。

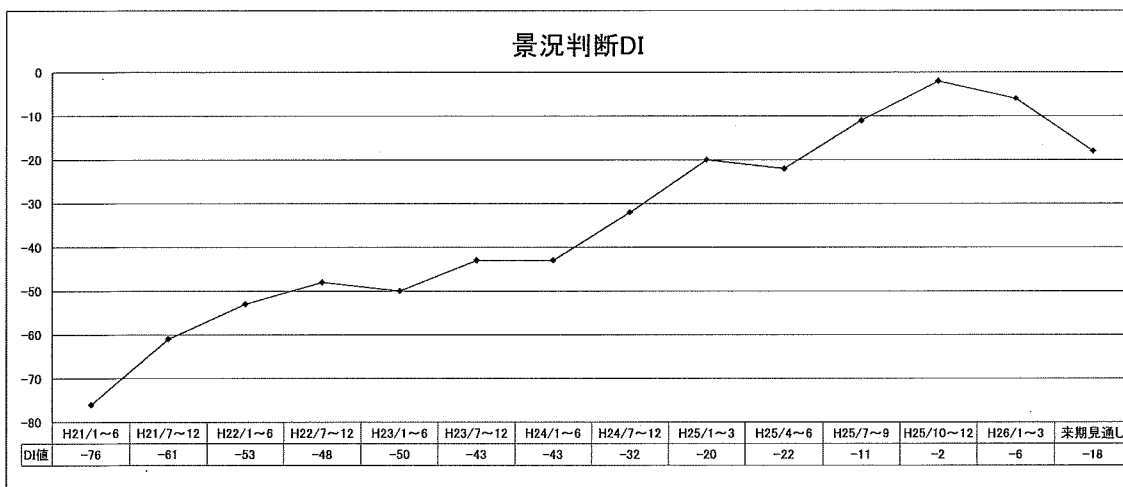
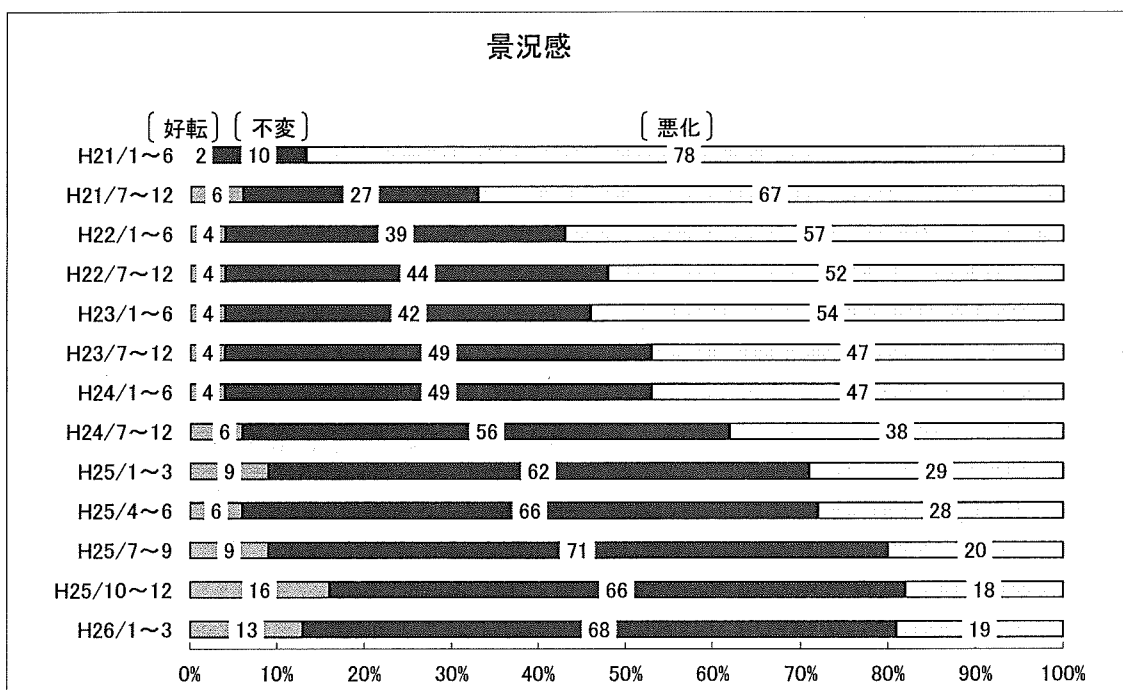
※DI とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009 年から半期周期の調査として実施していたが、2013 年からは四半期周期の調査に変更している。

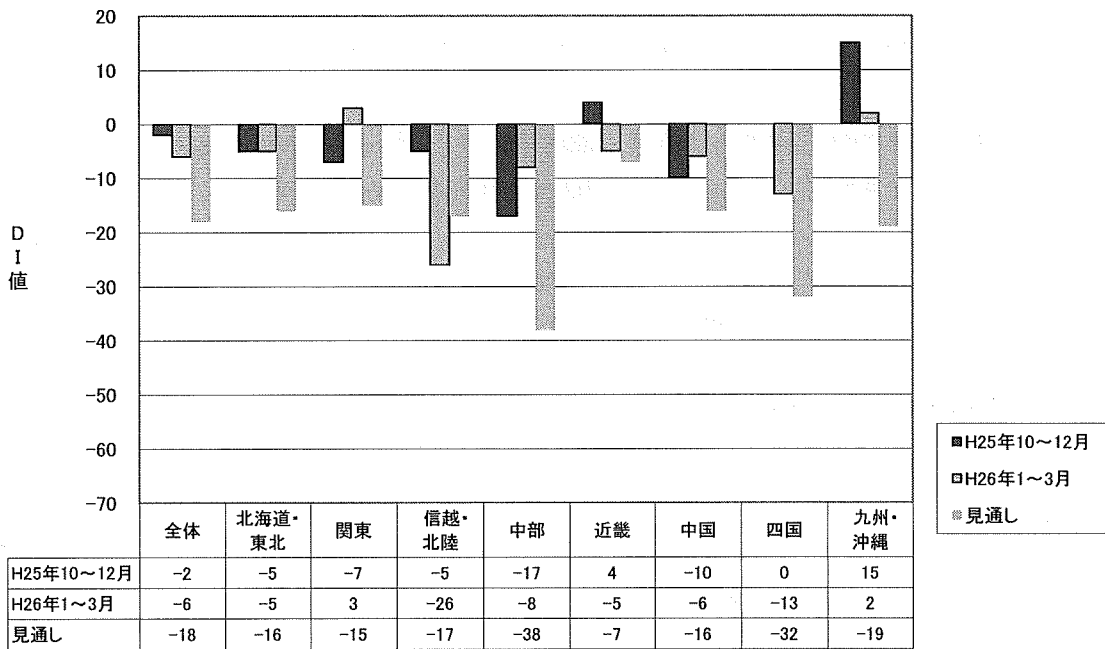
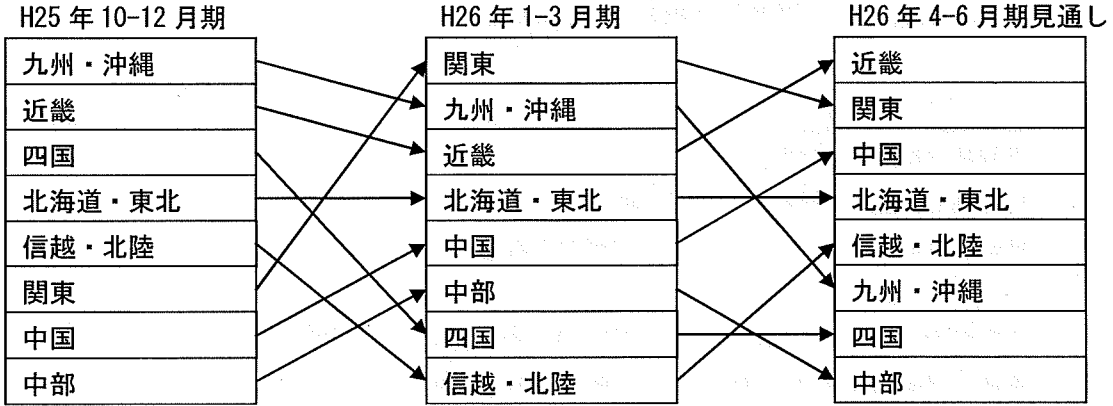
# 1. 景況感 DI (「好転」・「増加」－「悪化」・「減少」の企業割合)

## (1) 景況判断 DI

- 全体の景況判断 DI は、今回▲6 となり、前回と比べて 4 ポイント減と H25 年 4 月-6 月期以来 9 ヶ月ぶりに悪化した。  
また、見通しは▲18 となり、12 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI でみると、「関東」、「中部」、「中国」の 3 地域が前回と比べて改善した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI の見通しをみると、「近畿」が最も好調となっている。(3 ページ参照)



地域別景況判断D I



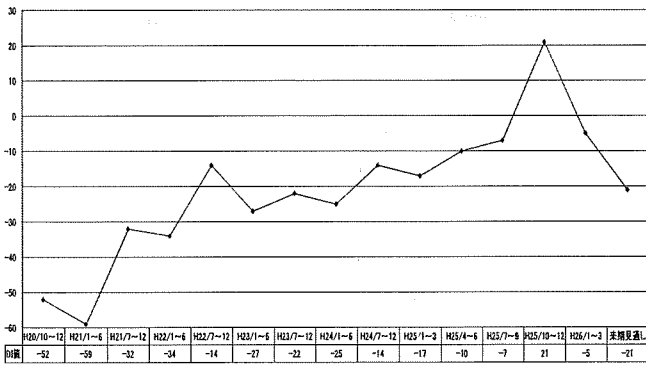
**(2) 売上高 DI、処理量 DI、契約単価 DI、営業利益 DI、資金繰り DI、借入難易度 DI、設備投資 DI、従業員数 DI**

- 前回と比べ、資金繰り DI・従業員数 DI のみ改善した。
- 見通しは、全ての指標が悪化若しくは同水準となった。

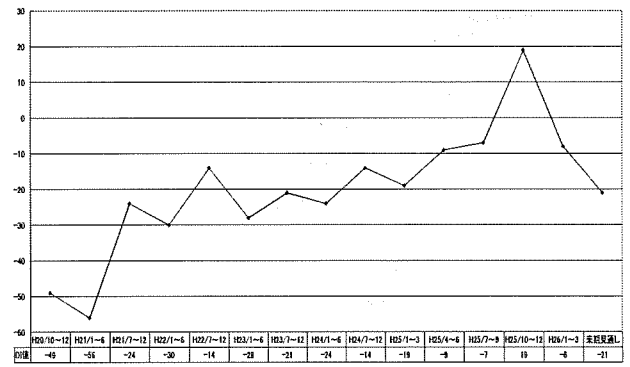
以下詳細（5 ページ参照）

- ・売上高 DI は、今回▲5 となり、前回と比べて 26 ポイント悪化した。  
見通しは▲21 となり、16 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・処理量 DI は、今回▲8 となり、前回と比べて 27 ポイント悪化した。  
見通しは▲21 となり、13 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・契約単価 DI は、今回▲2 となり、前回と同水準となった。  
見通しは▲3 となり、1 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・営業利益 DI は、今回▲10 となり、前回と比べて 11 ポイント悪化した。  
見通しは▲21 となり、11 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・資金繰り DI は、今回 1 となり、前回と比べて 3 ポイント改善した。  
見通しは▲3 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・借入難易度 DI は、今回 7 となり、前回と比べて 1 ポイント悪化した。  
見通しは 4 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・設備投資 DI は、今回▲1 となり、前回と比べて 3 ポイント悪化した。  
見通しは▲5 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・従業員数 DI は、今回 4 となり、前回と比べて 1 ポイント改善した。  
見通しは 4 となり、同水準で推移する見込みとなっている。

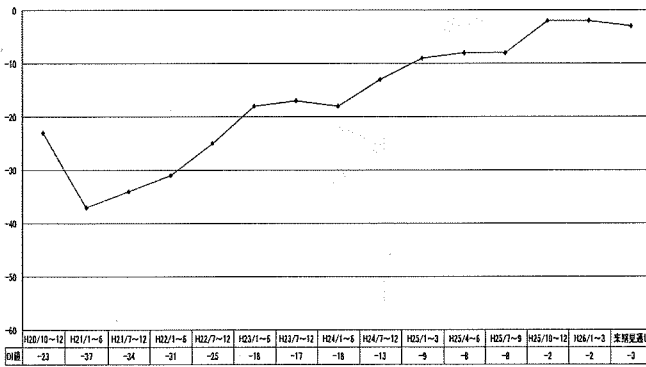
売上高DI



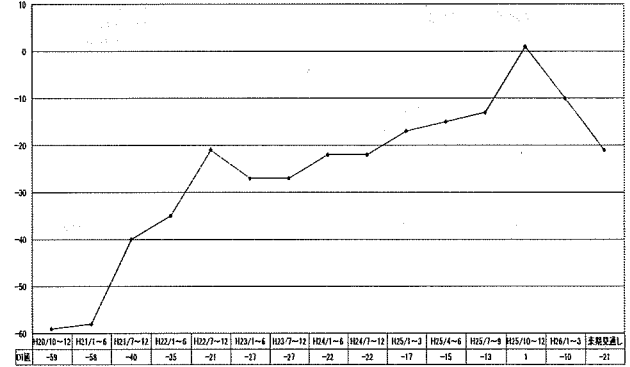
処理量DI



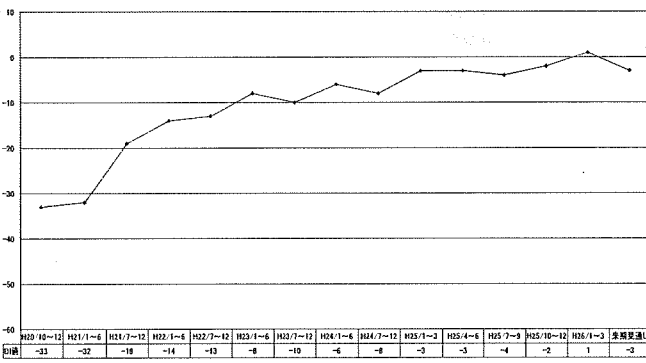
契約単価DI



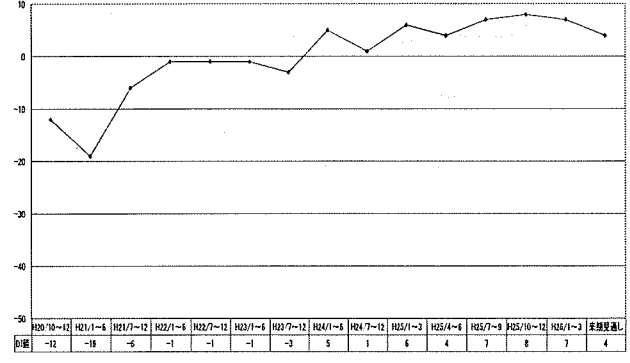
営業利益DI



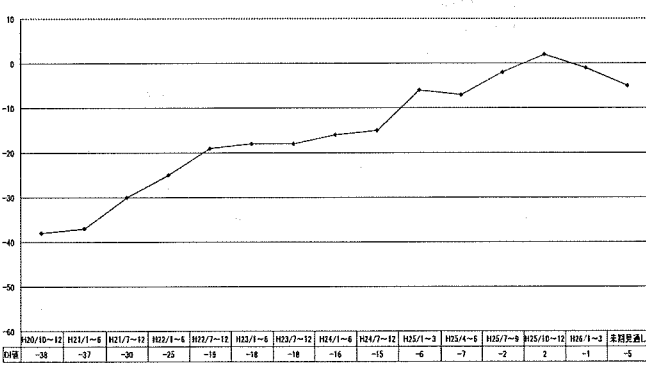
資金繰りDI



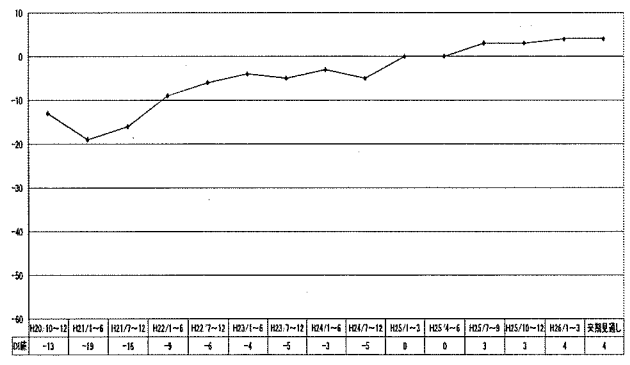
借入難易度DI



設備投資DI

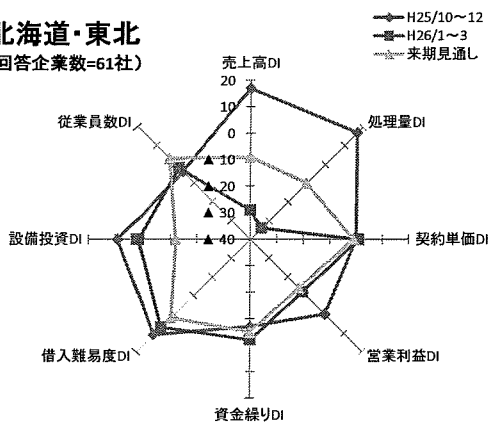


従業員数DI

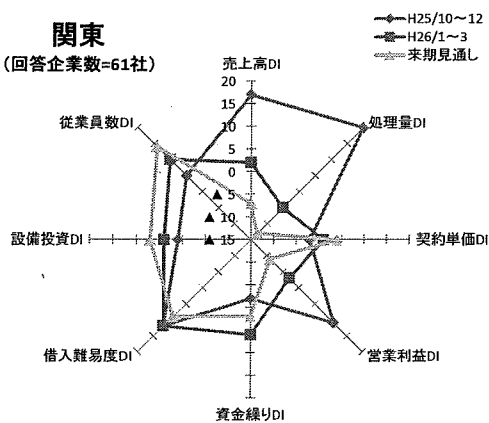


【地域別レーダーチャート】

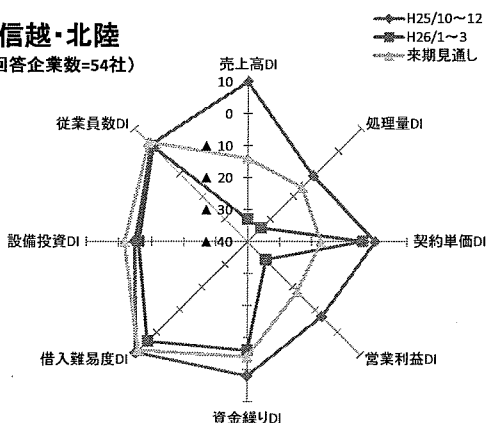
北海道・東北  
(回答企業数=61社)



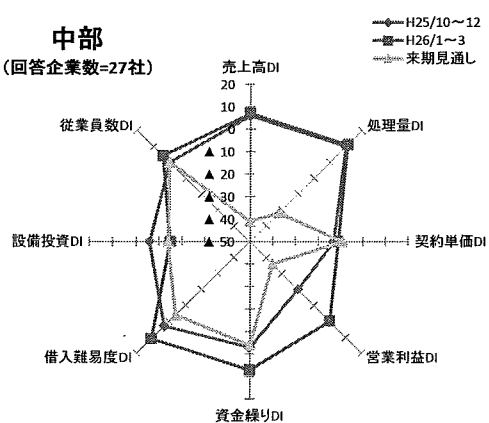
関東  
(回答企業数=61社)



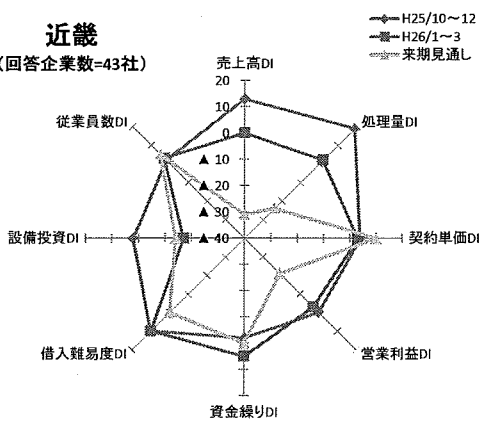
信越・北陸  
(回答企業数=54社)



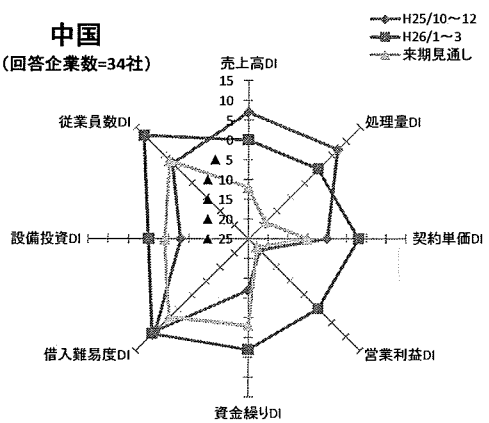
中部  
(回答企業数=27社)



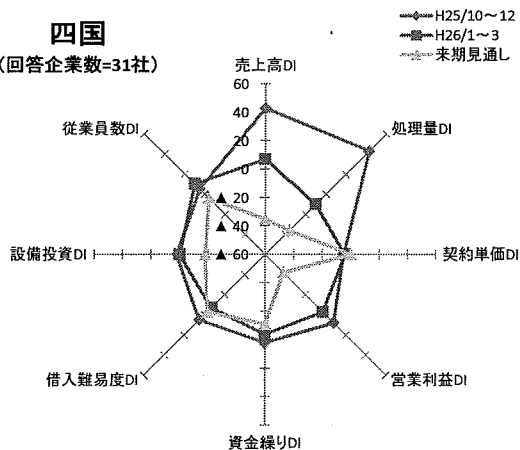
近畿  
(回答企業数=43社)



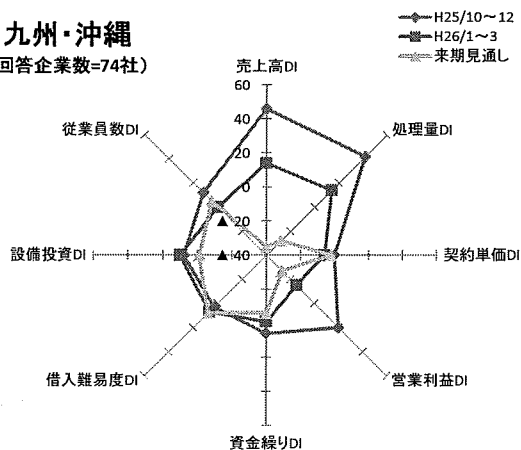
中国  
(回答企業数=34社)



四国  
(回答企業数=31社)



九州・沖縄  
(回答企業数=74社)



### 3. 売上高の動向

○ 前年同期比（3ヶ月平均）では、17.6%増となった。

有効回答数：208社

単位：千円

	H25年1月	H25年2月	H25年3月	平均
全体	6,787,309	7,274,429	8,254,221	7,438,653
	H26年1月	H26年2月	H26年3月	平均
全体	7,997,500	8,513,286	9,729,265	8,746,684
前年比	17.8%	17.0%	17.9%	17.6%

### 4. 処理量の動向

○ 前年同期比（3ヶ月平均）では、17.9%増となった。

有効回答数：171社

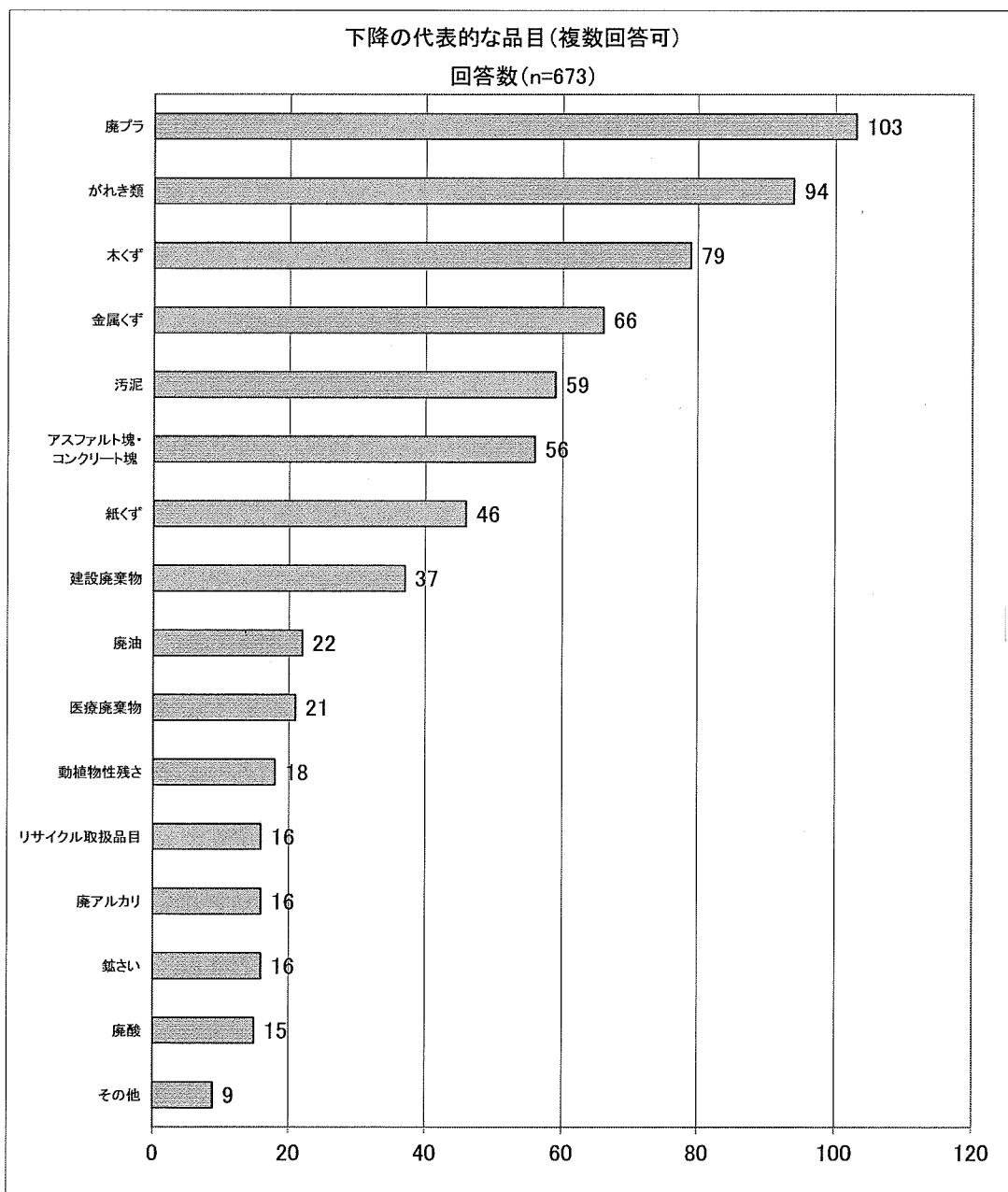
単位：トン

	H25年1月	H25年2月	H25年3月	平均
全体	124,996	401,067	488,182	338,082
	H26年1月	H26年2月	H26年3月	平均
全体	162,129	510,136	563,373	411,879
前年比	22.9%	21.4%	13.3%	17.9%



## 5. 代表的な値下げ品目（複数回答可）

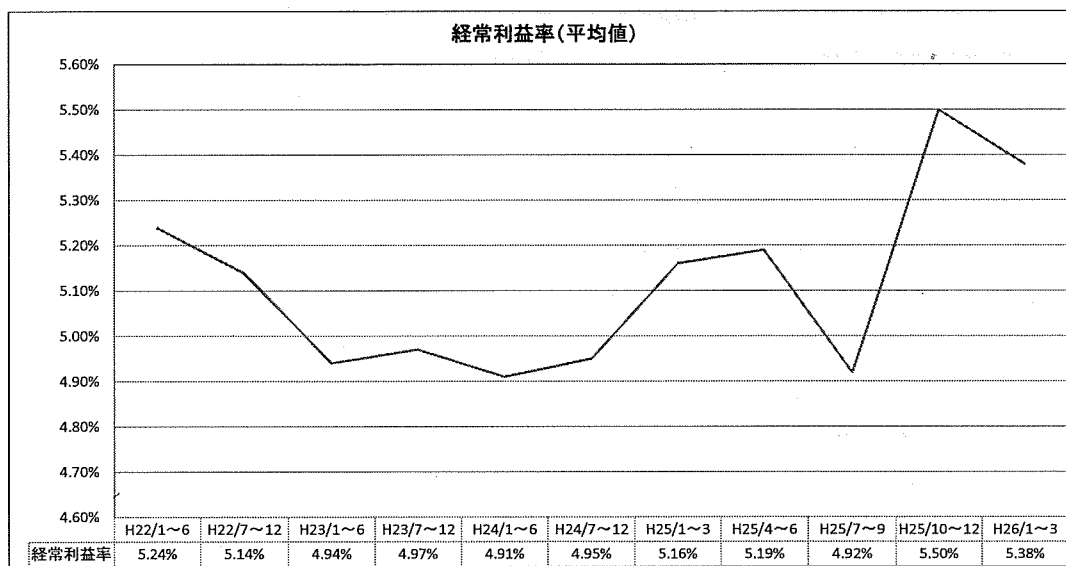
- 代表的な値下げ品目としては、1位「廃プラスチック類」、2位「がれき類」、3位「木くず」、4位「金属くず」、5位「汚泥」などとなった。（前回調査1位「がれき類」、2位「廃プラスチック類」、3位「アスファルト塊・コンクリート塊」、4位「木くず」、5位「汚泥」など）
- 上位5位合わせて、約6割と高い割合になっている。



## 6. 経常利益率（経常利益の対売上高比率）

- 経常利益率の平均値（注1）は前回調査の 5.50%から、5.38%と悪化した。
- 経常利益率をみると、「5%未満」との回答割合が 35.7%、「5-10%未満」が 20.7%、「10%以上」14.7%となった（前回調査 「5%未満」35.2%、「5-10%未満」17.1%、「10%以上」16.0%）。

平均値 <sup>(注1)</sup>	中央値 <sup>(注2)</sup>	最頻値 <sup>(注3)</sup>
5.38%	4-5%	10%未満



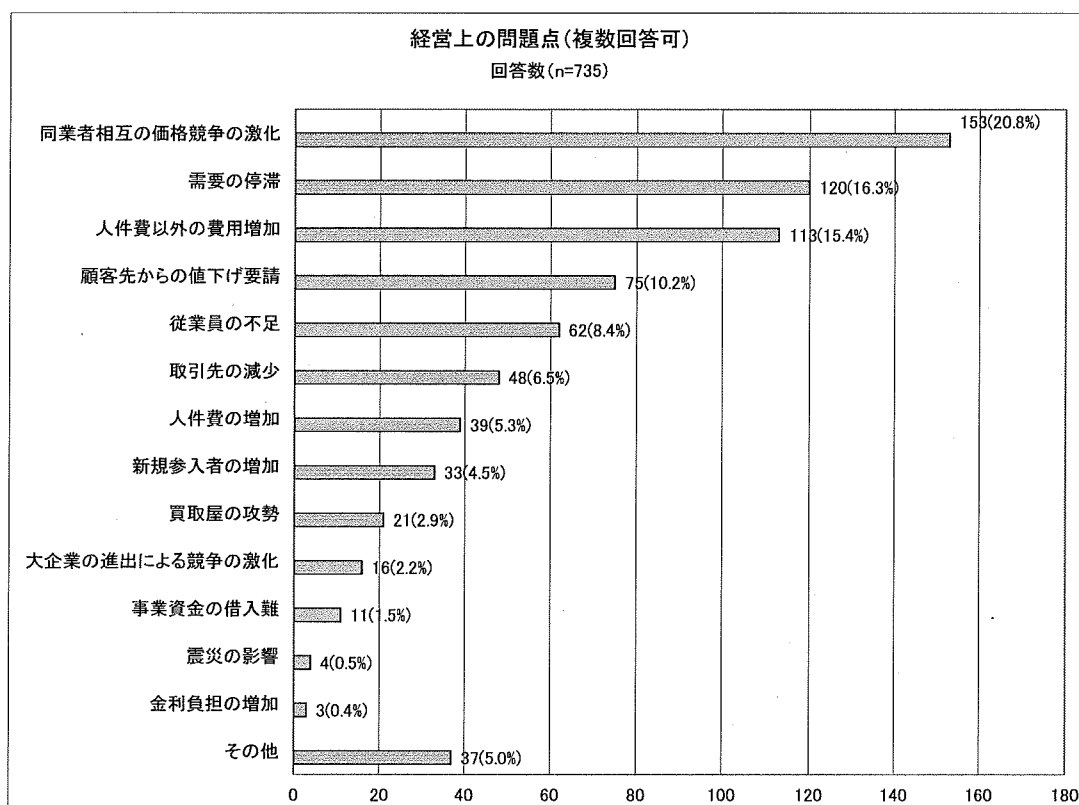
(注1) 平均値は、各選択肢の「代表値（各選択肢の幅の中間値）」×回答人数を足した値を回答人数（把握なしを除く）の合計で割って算出する。なお、1%未満の代表値は0.5%、10%以上の代表値は10.5%とする。

(注2) 中央値は、回答（把握なしを除く）を昇順あるいは降順などの順番に並べて、中央に位置する値。

(注3) 最頻値は、最も回答人数（把握なしを除く）が多い値。

## 7. 経営上の問題点（複数回答可）

- 経営上の問題点としては、1位「同業者相互の価格競争の激化」、2位「需要の停滞」、3位「人件費以外の費用増加」、4位「顧客先からの値下げ要請」となった。
- 前回調査と比べて、「需要の停滞」が3位から2位に上昇している。
- 燃料高、人手不足による賃上げなど、コストアップ要因が重なり収益環境が悪化していることが伺える。
- 「その他」として、「大雪などの天候不順の影響」とする意見が多かった。



### 【その他の代表的な意見】

- ・電気代、燃料代の値上げ
- ・消費税増税前のかけ込み搬入
- ・降雪の影響（天候の不順）
- ・修理費負担の増加
- ・人材育成
- ・二次搬出先の確保
- ・最終処分場の残容量の逼迫、受入単価の上昇

## 〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、2008年10月-12月期の本調査において回答のあった全国の協会会員企業、全国産業廃棄物連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

### (1) 調査対象者

「景況動向調査（2008年10月-12月期）」で回答のあった全国の協会会員企業、全国産業廃棄物連合会理事及び部会運営委員会委員

### (2) 調査期間

平成26年4月14日～5月30日

### (3) 調査方法

郵送によるアンケート

### (4) 回答数・回答率

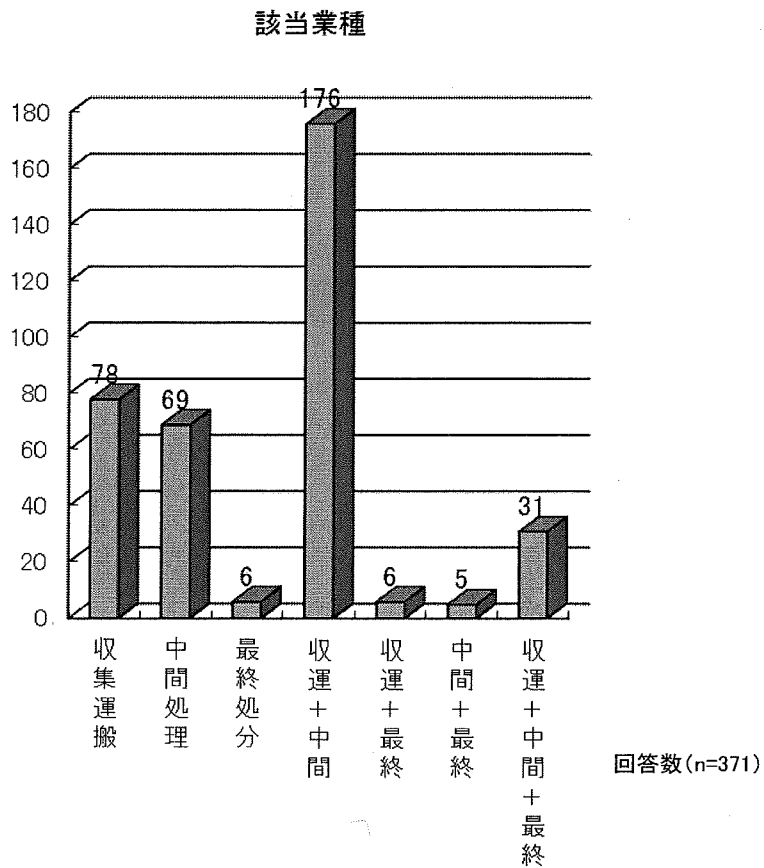
調査依頼企業数	1,100社
回答企業数	385社
回答率	35.0%

### (5) サンプル構成

#### ① 地域別構成

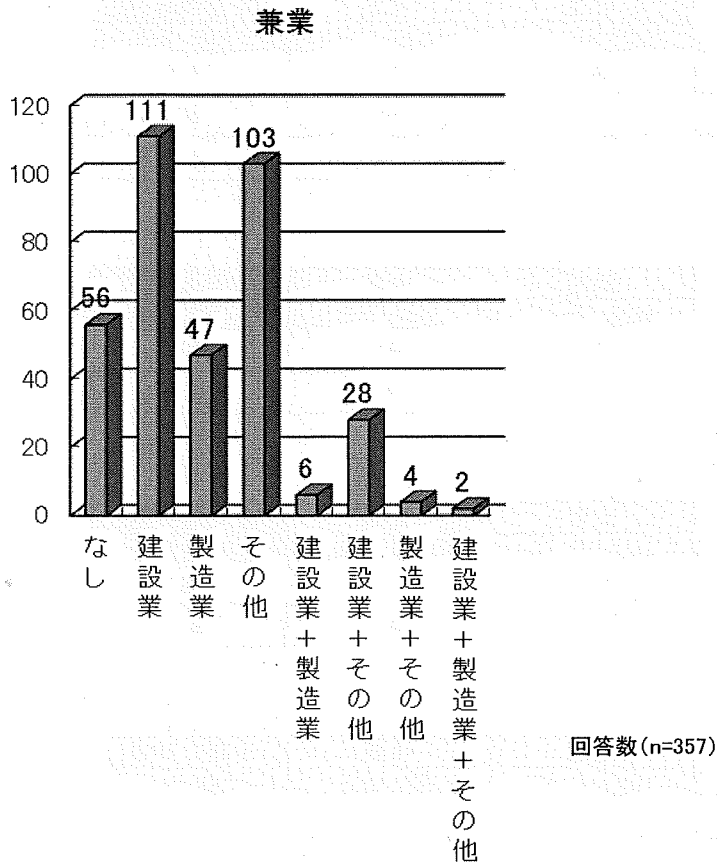
地域	企業数	構成比
北海道・東北	61	15.8%
関東	61	15.8%
信越・北陸	54	14.0%
中部	27	7.0%
近畿	43	11.2%
中国	34	8.8%
四国	31	8.1%
九州・沖縄	74	19.2%
無回答	0	-
合計	385	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	78	21.0%
中間処理	69	18.6%
最終処分	6	1.6%
収運+中間	176	47.4%
収運+最終	6	1.6%
中間+最終	5	1.3%
収運+中間+最終	31	8.4%
無回答	14	-
合計	385	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	56	15.7%
建設業	111	31.1%
製造業	47	13.2%
その他	103	28.9%
建設業+製造業	6	1.7%
建設業+その他	28	7.8%
製造業+その他	4	1.7%
建設業+製造業+その他	2	0.6%
無回答	28	-
合計	385	100.0%

## ○参考資料1(他業界との比較)

平成25年10月～平成26年3月(半期)の実績と来期の見通しについて、「建設業」及び「トラック運送業」の景況調査結果と本調査結果を比較。

※DIとは、「好転」・「増加」等とする企業割合から、「悪い」・「減少」等とする企業割合を差し引いた値。

### 〔景況感DI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H25/10-12	H26/1-3	H26/4-6
産業廃棄物処理業	▲2	▲6	▲18
建設業(地元建設業界の景気)	17	13	▲2
トラック運送業	12	14	▲38

### 〔受注DI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H25/10-12	H26/1-3	H26/4-6
産業廃棄物処理業(処理量)	19	▲8	▲21
建設業	8	4	▲13

### 〔資金繰りDI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H25/10-12	H26/1-3	H26/4-6
産業廃棄物処理業	▲2	1	▲3
建設業	▲3	▲3	▲11

### 〔借入難易度DI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H25/10-12	H26/1-3	H26/4-6
産業廃棄物処理業	8	7	4
建設業(銀行等貸出傾向)	6	8	3

### 〔従業員数DI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H25/10-12	H26/1-3	H26/4-6
産業廃棄物処理業	3	4	4
建設業(建設労働者の確保)	▲52	▲52	▲51
トラック運送業(人手の過不足)	51	53	56

### 〔収益DI〕

	前期	今期	来期の見通し
	H25/10-12	H26/1-3	H26/4-6
産業廃棄物処理業(営業利益)	1	▲10	▲21
建設業	▲9	▲8	▲23
トラック運送業(経常損益)	▲2	3	▲38

出典:平成25年度第4回建設業景況調査【北海道建設業信用保証株式会社・東日本建設業保証株式会社・西日本建設業保証株式会社】のデータに基づき連合会がDI値を算出。DI値の算出方法は、BSI値を2倍にして算出する。

出典:第85回のトラック運送業界の景況感(速報)【社団法人全日本トラック協会】のデータに基づき連合会がDI値を算出。DI値の算出方法は、「大幅増加」・「やや増加」等とする企業割合から、「大幅減少」・「やや減少」とする企業割合を差し引く。

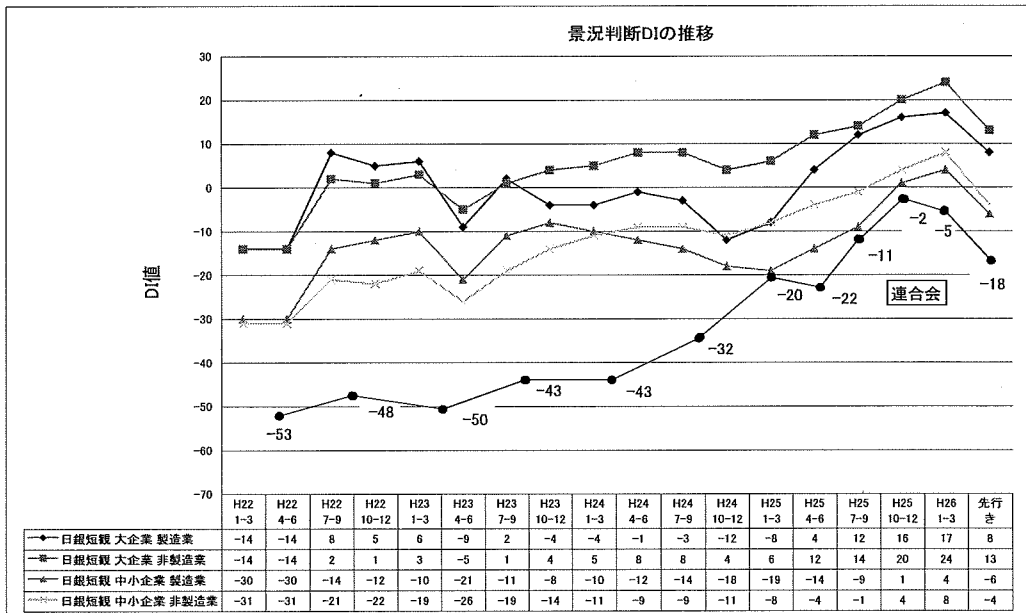
## ○参考資料2(日銀短観との比較)

平成25年10月～平成26年3月(半期)の実績と先行きについて、日本銀行が公表する「短観(全国企業短期経済観測調査)」と本調査結果を比較。

※DIとは、「好転」・「増加」等とする企業割合から、「悪い」・「減少」等とする企業割合を差し引いた値。

### 〔景況判断DI〕

			前期	今期	先行き
			H25/10-12	H26/1-3	H26/4-6
産業廃棄物処理業			▲2	▲6	▲18
日銀短観	全規模	全産業	8	12	1
	大企業	製造業	16	17	8
	大企業	非製造業	20	24	13
	中小企業	製造業	1	4	▲6
	中小企業	非製造業	4	8	▲4



### 〔資金繰りDI〕

			前期	今期
			H25/10-12	H26/1-3
産業廃棄物処理業			▲2	1
日銀短観	全規模		8	8
	大企業		17	18
	中小企業		1	1

### 〔借入難易度DI〕

			前期	今期
			H25/10-12	H26/1-3
産業廃棄物処理業			8	7
日銀短観	全規模(貸出態度判断DI)		13	15
	大企業(貸出態度判断DI)		20	21
	中小企業(貸出態度判断DI)		8	9

### 〔設備投資DI〕

			前期	今期	先行き
			H25/10-12	H26/1-3	H26/4-6
産業廃棄物処理業			2	▲1	▲5
日銀短観	全規模(生産・営業用設備判断DI)		2	0	▲1
	大企業(生産・営業用設備判断DI)		4	2	1
	中小企業(生産・営業用設備判断DI)		0	▲1	▲2

### 〔従業員数DI〕

			前期	今期	先行き
			H25/10-12	H26/1-3	H26/4-6
産業廃棄物処理業			3	4	4
日銀短観	全規模(雇用人員判断DI)		▲10	▲12	▲11
	大企業(雇用人員判断DI)		▲3	▲6	▲4
	中小企業(雇用人員判断DI)		▲12	▲15	▲14



